食と農を未来へつなぐ

県本部通信

Monthly Zen-noh Gunma
1
2023 January
No.248

©群馬県ぐんまちゃん

This month's photo

桜山公園の冬桜（藤岡市）

Contents

事業のうごき
新年のご挨拶
インフォメーション
農業チャレンジャー
JAピックアップ！
アートクッキング
花木流通センター便り

ZENNOH_GUNMA

JA全農ぐんま
公式インスタグラム
情報発信中！
ぜひご覧ください

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農ぐんま
https://www.zennoh.or.jp/gm/

事業のうごき

畜産農産部

▶酪農畜産課

○生乳の計画生産の推進
○初妊牛導入推進
○素牛導入推進
○種豚導入推進
○渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
（優良ＥＴ卵産子の活用促進）

▶米麦特産課

○令和４年産大豆集荷推進
○令和４年産民間流通麦引取推進
○令和５年産民間流通麦契約面積播種推進
○こんにゃく荒粉・精粉入札販売の実施

園芸部

▶園芸販売課

○共計ホウレンソウ販売　（周年）
○共計チンゲンサイ販売　（周年）
○共計味ニラ販売　（周年）
○共計下仁田ネギ販売　（１月末日迄）
○共計上州ネギ販売　（２月末日迄）
○共計シュンギク販売　（２月末日迄）
○共計土ネギ販売　（３月中旬迄）

▶販売促進課

○秋冬野菜販売促進
○もやし類・加工野菜販売促進

▶園芸資材課

○春用出荷資材予約推進
（ホウレンソウ・キュウリ・フキ他）
○低コスト段ボール
（ＡＫライナー・ショートフラップ化）推進
○来年度産青果物段ボール予約推進
○温床資材予約推進
（農ビ・トンネル資材・コンニャクマルチ他）
○春まき用野菜種子推進
（ホウレンソウ・エダマメ・トウモロコシ他）
○種馬鈴薯納品

生産資材部

▶肥料農薬課

○セルフブレンド推進
○茎葉処理除草剤大型規格推進
○施設園芸肥料推進
○こんにゃく肥料農薬推進
○バンカーシート推進

▶担い手推進課

○大規模・系統未低利用生産者への推進支援
○ＪＡの出向く体制強化支援

▶施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進　（周年）
○カクイチ物置・広スペースハウス推進　（周年）
○住友不動産（株）「新築そっくりさん」推進　（周年）

生活燃料部

▶生活課

○蓄電池推進　（周年）
○シロアリ防除事業推進　（周年）
○ＪＡタウン取扱品目拡大
○仕込み味噌推進　（10月～３月）
○2023年度頒布会「旬鮮倶楽部」加入推進
（12月～２月）

▶葬祭センター

○ペット火葬推進　（周年）
○墓石事業取扱拡大推進　（周年）

▶石油課

○冬のＳＳキャンペーン

▶ガス課

○ガス・でんき新規獲得推進　（４月～３月）
○給湯器燃料転換推進　（４月～３月）

新年のご挨拶

新春のお慶びを申し上げます

令和５年の新春を迎え、皆様の御健勝をお祈りいたしますとともに、全農群馬県本部を代表いたしまして年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年は、コロナ禍による行動制限が少しずつ緩和され、ようやく人々の活動に活気が見られるようになりました。海外からの旅行者も増え、インバウンド消費の拡大が、生産者に大きなプラスになるものと期待しています。

本県はもちろん、日本の農業者が置かれている状況は、決して安心できるものではありません。農畜産物の生産に必要な資材・飼料・燃料価格は高騰している一方で、販売価格に反映されないことから、生産者の経営はこれまでにない困難な事態に直面しています。全農群馬県本部は、持続可能な農業を実現することを目標に、生産者のためにさまざまな取り組みを行って参りました。そのような中、ウクライナ危機による穀物の国際相場の高騰をきっかけに、「食料安全保障」を確保するための議論が始まるなど、農畜産物の根本的なあり方を国民全体で考え直さなければならないと強く感じています。

また、国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産するという「国消国産」という考え方をＪＡグループは提唱し、訴えてきました。この「国消国産」の機運を一過性のものにせず、国内生産基盤を維持・強化を進め、将来にわたって食料を安定的に供給するため、生活者の農畜産業に対する理解と支援を広げることが重要であると考えます。

令和５年も組合員・生産者の皆さまが安心して農業経営を行えるよう、全力で取り組み、安全で安心な農畜産物の安定供給に努めてまいります。

皆様の御支援と御協力を賜りますよう、本年もよろしくお願い申し上げます。

全国農業協同組合連合会　群馬県本部
運営委員会会長　唐澤　透

キントーン研修

ＪＡ総合課は11月９日から計５回、「キントーン研修会」を開催しました。「キントーン」は顧客情報や売上情報、プロジェクトの進捗や受注管理等、様々な情報をアプリで管理・共有することで、業務の質の向上やスピードアップが期待できます。研修会では受講者が実際にアプリ作成を行いました。ＪＡ総合課では今後も積極的に活用事例展開や研修会を開催し、農業分野のＤＸ化の推進を目指していきます。

コンプライアンス推進全体職員研修会

11月11日、コンプライアンス推進課は「第２回コンプライアンス推進全体職員研修会」をＪＡビル大ホールにて実施しました。野口栄理事長の「『誓いの日』理事長メッセージ」をビデオ視聴したのち、伊藤本部長より、業務のリスク管理、交通事故・ハラスメメント０（ゼロ）に向けた取り組みを各々が実行していただきたいとあいさつされました。

ＪＡたのふじ吉井支店竣工記念式典

11月14日、ＪＡたのふじ吉井支店竣工記念式典が執り行われ、ＪＡ役職員や工事関係者、当県本部関係者が出席しました。櫻井英俊理事長は「地域に根差し、地域から選ばれるＪＡとして、お客様に愛される支店を目指します」とあいさつされました。竣工式の後、テープカットが行われ、新支店の新たなスタートとなりました。

群馬県きのこ料理コンクール

11月19日、第23回群馬県きのこ料理コンクール調理審査および表彰式が行われ、最優秀賞の知事賞に利根商業高１年の川端希歩（のあ）さんの「旨味たっぷりきのこ餃子」が選ばれました。川端さんは、来年３月に東京都で開催される全国大会に群馬県の代表として出場します。このコンクールは群馬県が、きのこに関する知識の普及と消費拡大を図ることを目的に毎年開催しており、全農群馬県本部と群馬県きのこ振興協議会が後援しています。今年度は中高生を中心に331点の応募があり、書類審査を通過した10人が調理審査に臨みました。

ＪＡグリーン藤岡リニューアルオープン

11月24日、ＪＡたのふじは「ＪＡグリーン」の農産物直売所を「みっけもん」と改称し、リニューアルオープンしました。式典にはＪＡ役職員、施工業者、県本部関係者らが出席し、テープカットが行われ開店を祝いました。

新店舗の売り場面積を約360平方メートルに増築し、地元産野菜と管内の特産品である豚肉・鶏肉の取り扱いを拡大しました。櫻井英俊理事長は「地域の皆さまに親しみやすい店舗を目指し、農家の所得増大に努めたい」とあいさつされました。

ジャンボこんにゃく生玉コンテスト

米麦特産課が事務局を務める群馬県蒟蒻生産協会は11月24日、花木流通センターにおいて「第27回ジャンボこんにゃく生玉コンテスト」を開催しました。コンニャク芋の認知度を高め消費拡大につなげるため、1995年から開催しています。今年度は、ＪＡたのふじ・ＪＡ碓氷安中管内から13のコンニャク芋が出品され、ＪＡたのふじの高橋本（はじめ）さんの「あかぎおおだま」が、重量24kgで見事横綱となりました。

輸出先国向け国産食肉セミナー

11月28日、玉村町の全国食肉学校で「輸出先国向け食肉（和牛）精肉加工・調理技術セミナー」が開催されました。このセミナーは日本畜産物輸出促進協議会が主催し、９～11月に計６回、17ヵ国から約170人が参加し、和牛の特徴の理解や商品づくり･加工技術･調理方法等について行われました。11月28日はメキシコやニュージーランドなどからシェフや市場関係者約20人が出席し、同校の講師が、牛の枝肉を見せながら冷凍・解凍技術の説明を行ったり、実際に部位を切り分けて、特徴や調理方法を丁寧に説明しました。出席者は写真や動画を撮りながら熱心に質問していました。

はつらつ豚研究会

ＪＡにったみどり管内の養豚生産者、ＪＡグループ群馬で組織する「はつらつ豚研究会」では、初の公式カレンダー（令和５年）を作成しました。カレンダーの写真には、豚だけでなく、生産者やはつらつ豚取扱店舗（飲食店、精肉店）も掲載し、家族のような絆を大切にした仕上がりとなりました。次年度以降、発行部数を増やし、消費者にもプレゼントできるよう検討中です。

「上州ねぎ」とは、長ねぎと下仁田ねぎを掛け合わせた品種です。「からっ風」に吹きさらされ、地表には５㎝以上にもなる霜柱ができる気候風土のもとでじっくりと生育した「上州ねぎ」は甘味と旨味が抜群です！寒さも一段と厳しくなり、鍋料理が恋しくなるこれからの時期にぴったりな季節限定のねぎをぜひお試しください。

おいしい日本と暮らそう
JAタウン
www.ja-town.com

アクセスはこちら！
https://www.ja-town.com/shop/c/c3201

農業チャレンジャー

チャレ

1北村さん
2やよいひめ

「6次産業化も視野に お客様に「おいしいイチゴ」を届ける努力

JA甘楽富岡管内 北村 隆行さん

JA甘楽富岡

＼ Profile ／

北村 隆行（きたむら・たかゆき）さん

1983年生まれ　39才

栽培品目：イチゴ

面積：23a

ご家族が増え、仕事に、家庭に、毎日忙しく過ごしているそうです。

—今回の農業チャレンジャーは、ＪＡ甘楽富岡管内で、イチゴを生産する北村さんです。

—就農時期は？

９年前、30才で就農しました。

—就農のきっかけは？

両親２人で経営していましたが、年齢も高くなってきたので、自分が跡を継ごうと考え就農しました。今は両親と一緒に作業を行っています。

—就農されていかがでしたか？

就農して、改めて農業の大変さを知りました。特に今は、資材価格やハウスの暖房に使う重油などが高騰しているので大変ですが、家族で力を合わせて乗りきりたいです。

—年間のスケジュールを教えてください（生産～出荷まで）

イチゴは収穫できるまで１年半かかります。８月、収穫用ハウスとは別のハウスに苗を植付、株を増やし、約１年後の９月中旬、収穫するハウスに戻します。同年12月から翌年６月上旬まで収穫します。

—収穫量は？

１箱４パック入りのイチゴの箱を１日平均120～150ケース出荷しています。収穫のピークは２月と４月で、多いときは１日200ケース、全量ＪＡに出荷します。

—心掛けていることは？

天敵（害虫を捕食する益虫）を使った害虫駆除を積極的に取り入れ、消毒の回数を減らす取り組みをしています。それから温度管理に気を付けています。

—どんな時にやりがいを感じますか？

お客様から「おいしかった」とお礼の手紙が届いたことがあります。とてもうれしい出来事でした。農業は頑張った分が自分に返ってくると思っています。手紙もそういった結果だと思って頑張っています。

—今後の展望をお聞かせください。

農業も進歩しています。今後は新しい技術を取り入れながら、おいしいイチゴをお客様に届けていきたいです。また、生産・加工・販売まで農家が主体となって手掛ける６次産業にも取り組みたいと考えています。

—資材価格高騰の中、ひたむきに農業に取り組み、消費者に「おいしいイチゴ」を届けている北村さん、今後の更なる活躍が期待されます。

JAピックアップ！
～JAの活動をご紹介～

JAあがつま

吾妻中央高校とのコラボ商品 発売

◀加工部・吾妻中央高校 コラボ新商品

JAあがつま加工部は10月28日、吾妻中央高校とのコラボ新商品『吾妻中央高校のビーフカレー』を発売しました。

農畜産物の生産だけでなく、加工・商品化・販売までを手掛ける『六次産業化』の学習にも力を入れる同校動物科学コースでは、かねてより生徒たちが育てた生産物を使用した商品開発を、当JA加工部と共同で行っています。

このたび発売されたビーフカレーは、同校で獲れた野菜をふんだんに使った既存商品『吾妻中央カレー』に生徒たちが愛情込めて育てた牛を加え、程よい辛みと牛の旨味がまろやかに溶け合った、辛さが苦手な方でも食べやすいカレーとなっています。

パッケージデザインも生徒たちが手掛けており、真っ赤な外箱にあたたかみのある手書きイラストが目印となります。管内の直売所やJAファーマーズなどで取り扱っておりますので、店頭でお見かけの際は是非お試しください。

JA邑楽館林

地元大学生に農産物提供し９年目 さらなる活躍を期待

JA邑楽館林青年部板倉支部は11月８日、板倉町にキャンパスを構える東洋大学の学生に地元農産物を贈りました。この取り組みは、部員がスポーツに励む学生に食の面からサポートしようと毎年行っており、今年で９年目を迎えました。

同日の贈呈式には、体育会陸上競技部女子長距離部門とサッカー女子部門の選手が出席し、青年部員が米やキュウリ、ナスなどの農産物を手渡しました。選手の佐竹結衣さんは「年末にかけて試合が続くので、米や野菜をたくさん食べて身体を作り、よい成績を残せるように頑張りたい」と話し、青年部員へ感謝を伝えました。

同支部の橋本敦支部長は「メディアでみなさんの活躍を見ると私たちも元気が出る。丹精して作った農産物を食べ、さらなる活躍を期待している」と選手を激励しました。

◀農産物を選手らに手渡す青年部員

JA みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時　間
オール群馬で全国へ！上州和牛／JA群馬中央会	1月2日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月8日(日)	AM 8:00～ 8:30
農業の未来を拓く　JA青年部／JA赤城たちばな	1月9日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月15日(日)	AM 8:00～ 8:30
農産物直売所オープン！「でんえんマルシェ」／JA邑楽館林	1月16日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月22日(日)	AM 8:00～ 8:30
いちご、JAグリーン、女性部料理（案）／JAたのふじ	1月23日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月29日(日)	AM 8:00～ 8:30
健大農学部（案）／JA群馬中央会	1月30日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※2月5日(月)	AM 8:00～ 8:30

中村 柚貴子アナ

Art Cooking

ミツバとエビのパンケーキ風おやき

Food adviser **石垣 惠美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

6個分　（1個分147kcal）

- ミツバ……1束
- バナメイエビ……5尾
- ホットケーキミックス粉……200g
- 卵……1個
- 水……70cc
- サラダ油……適量

作り方

1. ミツバは1㎝幅に切る。飾り用の葉を少し取っておく。
2. エビは皮と背ワタをとり、細かく切る。
3. ボールにホットケーキミックス粉を入れ、卵、水を入れ混ぜ合わせる。
4. **3**に**1**のミツバと**2**のエビを加えよく混ぜる。
5. フライパンにサラダ油を薄く敷き、**4**の生地の1/6をフライパンに丸くのばし、上に飾り用のミツバをのせる。火を弱めて蓋をし両面焼く。中まで火を通す。

花木流通センター便り

●定 休 日▶毎週火曜日
※店内では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

Twitterで
情報発信中！
ぜひご覧ください

KABOKU
花 木 流 通 センター

新鮮ぐんま みのり館

	営業時間	定休日
花木流通センター	4～5月:9:00~17:00 6～3月:9:00~16:00	4月～6月:無休営業 7月～3月:毎週火曜日定休
みのり館	4～3月:9:00~17:00	年末年始を除いて無休営業
棟名十文字うどん	4～3月:11:00~14:30	

住・所
お問合せ

前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

＼始まっています／みんながトクする

JAでんき

JAでんきとは
組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の
料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。
切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

お手続きも安心
担当者が直接ご訪問

お申し込み・ご相談はお電話、またはお近くのJAでんき代理事業者へ。
おトクな料金メニューをご紹介いたします。

切替は簡単！

step1 所定の申込書と検針票の準備
※現在のご契約内容が分かるもの

step2 JAでんき代理事業者または JAでんき担当者へ提出
※お客様には電力会社への解約連絡などを含めの切替手続きは一切発生いたしません。

step3 指定メールアドレスへ切替日程等ご案内送付
※迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、メールが受信できない場合がございます。（@zec.jp）を受信設定してください。

詳しくはこちらから！
https://zennoh-energy.co.jp/ja-denki/

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番　JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。

□発行／令和5年1月1日発行　□発行人／高田　宗徳　□ホームページアドレス／https://www.zennoh.or.jp/gm/　□E-mail／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
□発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画経理課　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地　TEL027-220-2223　Fax027-220-2229
R100 古紙配給率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。